

1 - 5 2014年の日本の紫外線

国内3地点(札幌、つくば、那覇)における紅斑紫外線量日積算値の2014年の月平均値を図1-12に示す。札幌とつくばでは春に1994~2008年の平均値を上回り、札幌の4月とつくばの5月にそれぞれその月として観測開始以来2位となった。那覇では、1月と7月にそれぞれの月として観測開始以来最大となった。これらの特徴は、各地点の天候(雲量や日照時間など)の状況と概ね整合している。

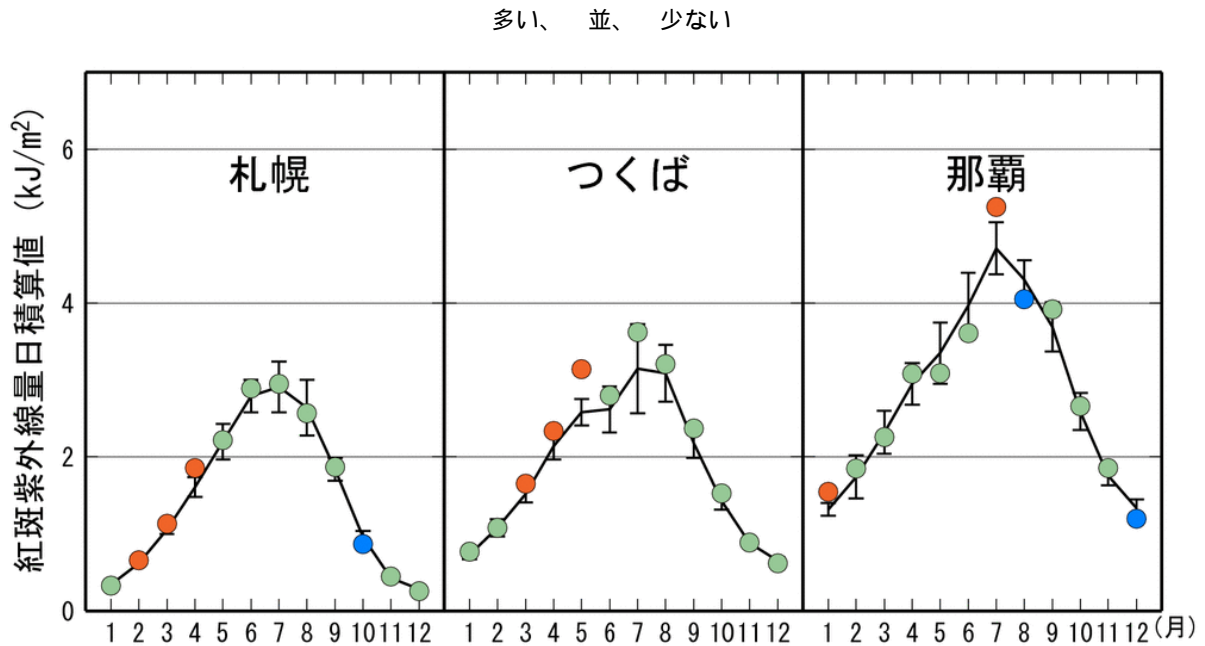


図1-12：2014年の紅斑紫外線量日積算値の月平均値

国内3地点(札幌、つくば、那覇)における紅斑紫外線量日積算値の月平均値。印は2014年の月平均値。実線は1994~2008年の累年平均値。縦線はその標準偏差。1994~2008年の累年平均値からの差が標準偏差以内のときを「並」、それより大きいときを「多い」、それより小さいときを「少ない」とした。